

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2017年(平成29年) 3月1日 第117号

ヴォーリスとたねやー過去・現在・そして未来へー ～第112回近江兄弟社創立記念講演に想う～

事務長 澤谷久枝



去る2月2日に、第112回近江兄弟社創立記念式が執り行われました。W. M. ヴォーリスが近江八幡の地に着かれたこの日を、近江兄弟社グループの創立の日とし、今年で112回目を迎えます。今回の記念講演は、たねやグループCEOの山本昌仁氏をお迎えし、標題のテーマでご講演を頂きました。当グループ関係者に加え、一般市民の方たちにも公開をし、約350人が講師の熱い語りを拝聴しました。

お話の一部を紹介します。たねやさんは、「種屋末廣」屋号で1872年(明治5年)創業。クラブハリ工は1951年(昭和26年)創業。創業145年を誇る老舗であります。山本氏は4代目を承継されています。洋菓子を手がけられたきっかけは、池田町のたねや創業店舗の前にヴォーリス宅があり、ティーパーティーなどの交流で洋菓子に触れ、作り方を教わったことにあります。いまや爆発的に売れている「バウムクーヘン」の原点でもあります。また、ヴォーリス師がその地域の特色・時代のニーズに合わせた和洋折衷の建築物を残した精神が、たねやの商品にも生かされている。天秤道『あきないの道は人の道』の教えを理解して継承することを、常にこころに刻んでしていると語られました。

たねやのお菓子を食べる人が、幸せに感じ“美味しい!!”と言ってもらうこと。伝統を守りながら、時代の変化に合う形に変える斬新さも必要。例えば、看板商品「栗まんじゅう」は、砂糖のない時代にできたものと、砂糖がふんだんにあって甘い物を健康のために避けている時代の菓子が同じでは、商いは続かない。相手のことを思い、食べる人の舌の変化を読み、今は甘味を減らして栗を多く入れるなど、伝統の味にメスを入れておられます。現在2000人の職員を抱え、理念を伝授するために、朝夕に「近江商人八つの心」を唱和。後進の育成に邁進されています。もともとヴォーリスが蒔いたたねが、いつか芽吹き、バウムクーヘンという年輪になり、今それは、リーフパイとしてどんどん葉がつき始めている。明治の終わりに蒔かれた種は、時を経て21世紀の今もしっかり根を張り大きく育っています。今のこの街をヴォーリスさんがご覧になられたら、どんなことを思われるでしょう。たぶん笑顔で“ばんざいなこっちゃ”と頷いて下さることでしょう。伝統と革新を両立させる「たねやの商道」の真髄に触れ、我々近江兄弟社グループの歩みも、ヴォーリス師が説かれた「隣人愛」と「奉仕」の精神に立ち返り、113年目に向かう決意を新たにしたいと思います。近江兄弟社グループ標語を『信・働・愛』(愛に由りて働く信仰)として歩みを始めます。

末筆となりますが、たねやグループ様の益々のご発展と職員皆様のご健勝を心からお祈り致します。
感謝

☆インフルエンザを予防するために☆

1. 予防注射をしましょう。
2. うがい・手洗いはこまめに。
3. 外出するときは、マスクを着用しましょう。

院内感染対策委員会

今
月
の
聖
句

そこで、私は言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。

新約聖書 ルカによる福音書 11章9節



チャプレン 安部 勉

ニューヨークにあるリハビリテーション病院の病室に「病者の祈り」が掲げられていると知りました。それが以下の「祈り」です。

私は何かを成し遂げようとして 神に力を求めたが
私が謙遜になって従うようにと 弱くされた
私はより大きなことを成そうとして 健康を求めたが
私がより良いことを成すようにと 病を授かった
私は幸福になろうとして 富を求めたが
私が賢明になるようにと 貧困を授かった
私は人々の賞賛を得ようとして 権力を求めたが
私が神の必要を感じるようにと 弱さを授かった
私は人生を楽しもうとして あらゆることを求めたが
私があらゆることを喜ぶようにと いのちを授かった
私が求めたものは何一つ得られなかった
しかし 願ったことはすべてかなえられた
こんな私であるにもかかわらず
私の数々の暗黙の祈りは答えられた
私はあらゆる人々の中であって
最も豊かに祝福された者だ

今月の聖書の言葉、「求めなさい、探しなさい、門をたたきなさい」と私たちに呼びかけてくださっています。そうすれば「成功する」と。何事もあなた「意欲次第だ」と。

上記の「祈り」の作者は「求めました。」「探しました。」「そして「願いました。」「しかし、何一つ叶いませんでした。彼は自分が願ったことは何一つ得られなかったのです。

イエス様の言葉を虚しく感じたことでしょう。

聖書では「求めなさい」と言ったイエス様がこう言われました。「あなたがたの中に、魚を欲しがると子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか」と。つまり、「神さまはあなたが願う必要なものを与えるではないか」と。

「祈り」の作者は弱さや試練の中で辛さや時に怒りを覚え失望に陥ったことでしょう。でも彼は弱さを覚えた中で自分が「いのち」与えられたことに気づきました。自分にとって最も大切な価値は豊かになることでも健康を追求することでもない、神に祝福されるものとしてのいのち与えられたことなのだ、と。

誰もが「なぜ自分が」と思うような試練や悲しみに直面します。人はその意味を知りません。ただ神さまだけが深い意味あることをご存知です。苦しみを通して、悲しみを通して、何を神さまは私に示そうとしているのか、問い続ける中に希望見いだせますように。

在宅サービス部門だより

訪問看護ステーション 樋口 加奈子

今年の冬は、例年にない大雪に見舞われ、私たちの住む近江八幡でも2週続けて雪が降り道路は混雑しました。訪問先ではスコップで雪かきをしてから訪問することもありました。そんな中、訪問のために安土地域の団地内を走行中、雪の多さでタイヤがはまってしまい、近くで雪かきをされていた酒屋のご主人に車を出すのを助けていただくという事態を起こしてしまいました。雪で視界も悪くとても不安でしたが、困っている時に一緒に雪かきをして下さり、道路に出るタイミングまで見ていただきました。地域の方がこんなにも親切にして下さったことに感激しました。改めてお礼を言わせていただきます。本当にありがとうございました。

さて、訪問看護を利用されている方の中には医療的処置が必要な方がいらっしゃると思いますが、介護されるご家族の負担を考えると大変な思いがあります。

ある高齢の患者さんが入院されて治療も済み、在宅へ戻ることが決まったとき、受け持ちをしていた私はご家族への吸引指導を任せられました。指導は初めてでしたが、分かりやすくまとめた資料を作り説明しながら少しずつ進めていきました。ご家族も何回か指導していく中で、少しずつそのやり方を習得されていきました。当時の私は、患者さんが在宅へ戻られるとき、ご家族の介護を受けながら生活を送っておられることが想像できませんでしたが、訪問看護の仕事をしていただいている今は、それぞれの方の生活が手に取るように理解でき、これこそが看護の原点とも思えるようになりました。これからもご利用者様が安心して自宅で療養ができ、ご家族様が不安なく介護ができるように、そして介護負担が増大しないように努めていきたいと思っております。

ヘルシークッキング 3月

ぼた餅

エネルギー 121kcal タンパク質 6.4g 脂質 0.6g (1人分)

(材料 ー6個分ー)

- ・もち米 1.5合
- ・水 270ml
- ・塩 少々
- ・粒あん 300g



(作り方)

- ① もち米は洗ってザルに上げ、水気を切ったら炊飯に入れて水を加えて30分程置いてからスイッチを入れる。
- ② 粒あんを6個に丸める。
- ③ 炊きあがったもち米は10分程蒸らし、塩を加えてすりこぎで少し粒が残るくらいに潰していき、6個に丸める。
- ④ ③のもち米を芯にして②のあんであんで完成。

3月18日は春のお彼岸です。春のお彼岸と言えば「ぼた餅」ですね。お彼岸の定番とも言えるぼた餅ですが「ぼた餅とおはぎって何が違うのか？」と疑問に思われた事はありませんか？一般的には春に作るものは「ぼた餅」、秋に作るものは「おはぎ」と言われていますが、それぞれ由来が違います。

諸説ありますが、ぼた餅は正しくは「牡丹餅」と言い、あんをつけた姿が牡丹の花のようだからと美しい表現に見立てたものと言われています。その反対に、その姿が“ぼたぼた”した感じがするから「ぼた餅」と名付けられたという説もあります。また、おはぎもぼた餅と同様に秋のお彼岸に咲く萩の花に見立てたことから「萩の餅」とも呼ばれています。他にも大き

さが違うといった説（ぼた餅は牡丹をイメージして大きめに作り、おはぎは萩をイメージして小さく作る）や、作り方が違うという説（ぼた餅はもち米の粒を残し、つぶしあんであんで包み、おはぎはもち米をつき上げて餅にしたものをこしあんであんだもの）など、様々な説があります。これらの起源は明らかではありませんが、江戸中期には既に記録に残っています。現在は年中行事の一つとしてお彼岸に食べる習慣となっていますが、当時は近隣に配って親睦を図ることも兼ねていたようです。

こんなぼた餅ですが、今年は手作りして、ご先祖さまの供養と共にご近所様と親睦を図ってみてはいかがでしょうか。

健康について

外来看護師 新谷 きのの

私は子供の頃から大人になるまで、両親のお陰でスポーツをしていた事もあるのか、大きな病気もせず風邪もほとんどひかずに過ごしてこられました。

しかし、大人になり花粉症、喘息、内臓疾患と色々病気を発症してしまいました。現在は定期的に受診し、検査、内服など先生に相談し、病気と上手につきあっていく事が大切だと思って毎日を過ごしています。そして何事にも前向

きに考え、人とのつながりを深めていく。具体的には自分から周りの人に声をかける事によって心の健康につながっていくと思っています。



報告1

ボーリング大会

チャプレン 安部 勉

さる1月27日（金）、エースレーン近江八幡に於いて近江兄弟社社員会主催「ボーリング」大会を実施しました。悪天候が続く中、当日は64名の参加者が各事業体から集まり、一時交流の場として楽しく過ごしました。

今年も社員会体育委員の皆さまの計らいにより豪華商品が用意され、子どもさんも含め楽し

い親睦の時となりました。

各事業体が交流する機会として定着してきました。働きは違いますが、それぞれの働きを知り、共に励んでいることに刺激を受け、改めて近江兄弟社の一員であることを覚える一時となりました。



報告2

「がんセミナーに参加して

訪問看護ステーションヴォーリズ 曾我 菜穂子

今年もまたこの季節がやってきました。毎年1月から3月に開催しております「がんセミナー」ですが、今年度の1回目が1月28日土曜日に開催されました。

今年のテーマは「がんと向き合うところ」です。毎年がんセミナー終了時に、今後どのような内容を取り上げてほしいか、参加者の皆様にアンケート形式でお聞きしていますが、その結果「最新のがん治療法」「緩和ケア」を希望される意見が多く、1回目は講師に三菱京都病院腫瘍内科・緩和ケア内科の医師 吉岡 亮先生をお招きし「抗がん剤治療の上手な使い方と限界」というテーマでお話しして頂きました。参加者の皆様のなかには、ご自身やご家族ががんという方もおられ、興味深く熱心に聴講されていました。先生のお話は「そこが聞きたかつ

た！」と思わず言いたくなるような非常にシンプルで明快な言葉が印象的でした。特に先生が最後に言われた「医者が患者さんに『私はあなたを見捨てへんで』ということが緩和ケアだと思う」という言葉が心に残りました。この言葉が、がんと向き合う方々の心に少しでも届くといいな…と思いました。



報告3

創立記念の夕べ、創立記念式典

チャプレン 安部 勉

去る2月1日、グリーンホテルYes近江八幡に於いて「創立記念の夕べ」を開催いたしました。この日は創立記念式典に先立ち、近江兄弟社に連なる各事業体で勤続25周年を迎えられた職員の皆さま一人ひとりより歩まれてきた思い出を伺う機会として催されています。今年度は10名の方が勤続25周年を迎えられました。

1部礼拝では近江兄弟社中学宗教主任の大門耕平牧師より「祈りによる結びつき」という表

題で奨励を語られました。その後、第2部として「思い出を語る」と題して勤続25周年を迎えられたお一人お一人より近江兄弟社で歩まれてきた思い出を語って頂きました。

当日は100名の皆さんが集まり、25周年を迎えられた職員の皆さまへの感謝、そして共にある喜びを分かち合う時となりました。そして各事業体が一同に集まり、親睦を深める一時でした。

報告4

近江兄弟社 創立112回記念式典

チャプレン 安部 勉

今から112年前の2月2日、ヴォーリスが近江八幡に降り立ちました。近江兄弟社ではこの日を「創立記念の日」として創立の志を確認する時としています。今年も2月2日、ヴォーリス学園平和礼拝堂に於いて創立112回記念式典を執り行いました。

当日は1部、ヴォーリス学園園長である道城献一牧師より奨励を受け、引き続き勤続25周年を迎えられた皆さまの表彰式を執り行い、皆さまへの感謝を捧げました。

そして今年より新たに定められた近江兄弟社の標語『信・働・愛』が掲げられ、ヴォーリス学園理事長である池田建夫先生が標語に込めたメッセージを示されました。

また今年も創立記念式に合わせ、たねやグループCEOの山本昌仁氏をお迎えし公開講演会を開催いたしました。詳細は巻頭言に澤谷事務長より報告がございますのでご覧ください。



報告5 第246回 ミュージックタイム

さる2017年1月28日、「第246回 ミュージックタイム」を開催いたしました。今回は山本厚志さん、節子さんご夫妻、そしてご友人の3人の演奏でした。山本さんご夫妻は年2回、23年にわたり演奏のためにお越し頂いています。今年も優しい音色をお聞かせくださいました。岡山に移住されるとのこと。なお、これからもお越しくださいます。本当に嬉しいことです。



メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体づくり 病後の方は体力回復 沢山の方がご利用されています。



営業日と時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~	デイ	市委託	○	デイ	市委託	---	---
12:00							
13:30~	○	○	デイ	○	○	---	---
17:00							
17:30~	---	○	---	---	○	---	---
20:00							

利用料金
入会金 3,750円
月会費
 週3回以上 8,208円
 週2回 5,400円
 週1回 3,024円

*デイ=介護保険サービス 市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス

休館日
 土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階
 電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541

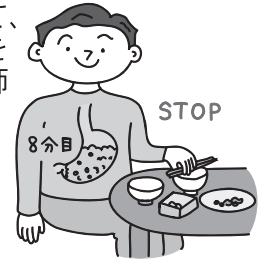


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 3月23日(木) 12:00~13:30 場所 新館研修室(病院内)
講師 管理栄養士

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211(担当:澤谷)

近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成29年度)

開催日程表

回	日程	内容	担当・講師
1	5月25日(木) 14:00~16:00	「ひとり暮らしの 食生活を考える」	ヴォーリス記念病院 管理栄養士 徳岡 貴美 氏
2	7月27日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART XⅢ」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏
3	9月28日(木) 14:00~16:00	「訪問診療の実際」	ヴォーリス記念病院 医師 ミツ浪 健一 氏 (公益財団法人 理事長)
4	11月16日(木) 14:00~16:00	「あたまの体操」	ヴォーリス老健センター 作業療法士 野澤 幸江 氏
5	2月22日(木) 14:00~16:00	「ひとり暮らしでも 最期まで我が家で」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵 氏

①対象者 おおむね65歳以上の方 定員:30名

②場所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)

③参加費 無料

④申し込み 1回目5月22日(月)までに往復ハガキで

①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒・田井中治美
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

介護・入院・施設の入所等で、お困りのことが
ありましたら、ご連絡下さい。

TEL (0748)32-5211 (代)
FAX (0748)36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

*センターは正面玄関入って左側にごさいます。



お知らせ

平成28年度ヴォーリス記念病院「がんセミナー」のご案内
～テーマ「がんと向き合うところ」～

第3回 2017年3月18日(土)「悩んで深いですね、わかりますよ」
大津市民病院 臨床心理士 笹田 侑子 様

時間: いずれも午後2時~午後4時

場所: ケアハウス信愛館(近江八幡市北之庄町492-2)
(当院ホームページのマップをご参照ください。)

定員: 30名

お申し込み 氏名、住所、電話、参加希望人数を明記のうえ、メールまたは
FAXでお申し込みください。

定員に達した時点で締め切りとさせていただきます。

(申し込み後、メールまたはFAXの返信をもって参加証といたします。ご持参ください。)

【お問い合わせは】

公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 (がんセミナー担当:安部)

FAX:0748-32-2152

E:mail:vories-reihaidoh@vories.or.jp

生と死を考える会 淡海 公開講演会のご案内



「今、この身で生きる」

講師:大河内大博さん

浄土宗願生寺副住職

上智クローケア研究所主任研究員

日時:2017年3月5日(日)<開場:13:00開演13:30>

場所:ヴォーリス記念病院「新館」1階 研修室

入場無料です。

詳しくは当院ホームページでご覧いただけます。(http://www.vories.or.jp/)

<お問い合わせ> ヴォーリス記念病院 安部まで

TEL 0748-32-5211 (代表) vories-reihaidoh@vories.or.jp

健康生活について「出前講座」のご案内

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に於いて『出前講座』を開催しています。
また、この講座を地域で開催することにより、地域の皆さまの健康と福祉の増進に努めたいと思っています。ぜひご利用ください。

ヴォーリス記念病院では下記の講座を実施しております。



お聞きになりたい
と思われる健康生活
習慣病関連・感染性
疾患、インフルエン
ザや消化器疾患、癌
疾患、がんなど)に
ついて医師からの話



ホスピスについて、
緩和医療や在宅看
護など医師や緩和
認定看護師、訪問
看護師などからの話



リハビリ療法士の体
験や看護師・栄養
士・薬剤師などから
の話



自宅で療養を継続さ
せる為のサービスの
具体的な内容などに
ついて、訪問看護や
ホームヘルパーやグ
アマネージャーから
の話

- ◆対象:近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など
※企業、医療機関及び介護保険施設等の職場研修は実施しておりません。
- ◆費用:無料です。
- ◆開催日時:日、祝日を除く、9時から17時まで。
- ◆申し込み方法:電話により希望日の2ヶ月前までにご連絡下さい。
開催が決定したら、正式に申込書をご提出頂きます。
募集の都合によりご希望の日時、講座に添えない場合もあります。予めご了承下さい。

お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL:0748-32-5211(代表)
のホームページでもご覧いただけます。 FAX:0748-32-2152
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 経営企画室まで